

教科(科目)	英語コミュニケーション I	単位数	3単位	学年(コース)	1 学年 (普通科)
使用教科書	数研出版『BIG DIPPER English Communication I』				
副教材等	BIG DIPPER English communication I ワークブック、BIG DIPPER English communication I ベーシックノート、Listening Pilot level1、チャンクで英単語 Basic、チャンクで英単語 Basic ドリルノート①				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①「深慮にして実践」「誠実にして勉励」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>②自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして、創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>②3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③自己の在り方生き方を探究するため、「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるため、ボランティア活動やインターシップ、外部検定試験など、生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 指導の重点

- ①基本的な言語事項の習得を重視し、語彙力の定着や音読ができるようになる。
- ②家庭での学習が自らできるようになる。
- ③英文を理解し、必要な情報を取り出すことができ、英文の概要や要点を把握できるようになる。
- ④学んだことを使って、自分の考えを表現できるようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト ・定期テスト ・Speaking Test などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期テスト ・授業中の発言 ・課題やワークシート ・Speaking Test などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、提出物の内容 ・授業態度 ・Speaking Test などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Lesson1	8	Have a Good Day with a Good breakfast	・健康の大切さについて学ぶ ・過去形・現在形・未来を表す 表現／現在完了／現在進行形 ／命令文(レシピ)	8	小テスト
5	Lesson2	8	A Mascot with a Mission	・町おこしについて学ぶ ・文型①〈SVC〉〈SVO〉／ 不定詞〈to+動詞の原形〉／動 名詞	8	小テスト
	1学期中間考査	1			1	
	Lesson3	8	Two Kinds of Leadership	・リーダーシップについて学ぶ ・受動態〈be動詞+過去分詞〉 ／ 関係代名詞 who・which・that／ 文型②〈SVOO〉〈SVOC〉	8	小テスト Speaking Test
6	Lesson4	8	Older Sports and Newer Sports	・スポーツの魅力について学ぶ ・最上級〈the+最上級〉／比較 級〈比較級+than〜〉／ 原級〈as+原級+as〜〉	8	小テスト
	1学期期末考査	1			1	
7 8	Lesson5	10	AI Meets the Arts	・芸術の世界にまで進出する AI[人工知能]について学ぶ ・名詞を修飾する分詞／形式主 語〈It is ~ that〉／ 形式主語〈It is ~ (for A) to do〉	10	小テスト
9	Lesson6	10	What Is Happiness?	・世界の人々の「幸福度」の違 いについて学ぶ ・過去完了〈had+過去分詞〉／ 関係副詞 where／関係副詞 when	10	小テスト
	2学期中間考査	1			1	

10	Lesson7	10	The Maldives: A Dream Destination?	・人気の観光地が抱える問題 ・SVOC (V=知覚動詞・使役動詞, C=原形不定詞) / SVO+to 不定詞/SVOC (V=知覚動詞, C=現在分詞)	10	小テスト
11	Lesson8	12	Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream	・世界的な特殊メイクアップアーティストKazu Hiroについて学ぶ ・関係副詞how/関係代名詞what /関係副詞why/ 強調構文〈It is[was] ~ that〉	12	小テスト Speaking Tes
	2学期期末考査	1			1	
12 1	Lesson9	10	From Recycle to Upcycle	・ゴミの再利用の新しい形「アップサイクル」について学ぶ ・つなぎ表現/分詞構文①「～するとき」/間接疑問文/ 現在完了進行形〈have [has] been ~ing〉	10	小テスト
2 3	Lesson10	12	Diversity at Japanese Companies	・日本の会社における雇用の多様性 ・仮定法過去/分詞構文②「～して, そして…」/ 過去の習慣 would/助動詞+be +過去分詞	12	小テスト Speaking Tes
	学年末考査	1			1	
		4	PowerUp Section	各レッスンについて, さらに理解を深める	4	

105 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・三省堂『チャンクで英単語 BASIC』に関して、基本的に毎週単語テストがあります。
- ・各レッスン終了後に単元テストがあります。
- ・定期試験後は、BIG DIPPER ベーシックノートとBIG DIPPER ワークブックを提出することとなります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

1年次では、しっかり英語の基礎固めを行ってまいります。毎週小テストや毎時間のノート作りなど課題がありますが、1年間取り組むことができれば、着実に実力がつくはずで。将来の自身の進路のため、努力を継続して下さい。